

衣類のお手入れ通信

明けましておめでとうございます。清々しい新年の気分で毎日を過ごしたいものですが、時には気分が晴れないこともありますね。モヤモヤするときはお酒を飲む、寝る、運動、カラオケなど色々な解消法がありますが、無心になれると気分が切り替わるようです。上手に気分転換しながら今年も楽しくお過ごしください。私はスキーで気分転換です^^

【皮革製品の正しい取り扱い方法】

皮革製品は衣服に限らず、靴、鞆、小物など、独特の風合いや質感が親しまれていますね。一般的に、皮革製品は普通の布製品に比べて丈夫で長持ちするものと思われています。しかし、取り扱い方法をひとつ間違えると非常にもろいということをご心得ておいてください。

よくお客様からご相談を受けるのが「雨や水に濡れた皮革製品をドライヤーなどで乾かそうとしたら、熱をあてた部分が急激に縮んで硬化してしまった」というものです。これは革のタンパク質であるコラーゲンに熱が加わったことで変性し、収縮が起こったと考えられます。特に水に濡れた状態ではコラーゲンの熱変性温度が低下しているため、収縮が起こりやすいのです。水に濡れても高い熱をかけず、自然な状態で乾燥させていけば収縮は起こりません。また、濡れていない皮革製品に当て布をして中温でアイロンをかけたり、ドライヤーをあてたりしたくらいの熱では形状は変化しません。ただし、水分があると収縮が起こる可能性がありますので、スチームアイロンは絶対に使用しないでください。皮革製品が濡れてしまったら、まずその表面を乾いた布でやさしく拭きとった後、室内の風通しの良いところに吊るして自然乾燥してください。靴や鞆類の場合は同じように布で拭きとってから、中に新聞紙を丸めて入れるとよいでしょう。冬場は乾燥するのに2～3日かかることがあります。急いで乾かそうとしないことがポイントです。もうひとつ注意したいのが、塩化カルシウムです。塩化カルシウムは乾燥剤や路面に散布される融雪剤に含まれている身近な物質です。塩化カルシウムが革に浸透するとコラーゲンが変性して収縮が起こったり、色が黒ずんだりします。タンスに乾燥剤を置く場合は皮革製品には近づけないでください。また、雪道を歩く場合に皮革製品を身につけるのはお勧めできません。注意して使用していても皮革製品が濡れてしまったという場合は、まずご相談ください。

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田 1-6 TEL・fax0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博 愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、津島市、集配致します。